

平成29年第1回

始良市若者議会 会議録

平成29年8月9日開会

平成29年8月9日閉会

始良市

○議長（末満渚生君） ただいまから、第1回 始良市 若者議会を開会いたします。
(午前9時00分開会)

○議長（末満渚生君） ただいま出席している議員は20名です。

○議長（末満渚生君） これから 本日の会議を開きます。

○議長（末満渚生君） 本日の日程は、配布しています 議事日程のとおりです。

○議長（末満渚生君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、議長において15番 下津佐拓郎議員と17番 伊福俊之介議員の2名を指名します。

○議長（末満渚生君） 次に、日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。

始良市若者議会の会期は、本日1日限りとしたいと思います。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（末満渚生君） 異議なしと認めます。

よって、会期は本日1日限りと決定しました。

○議長（末満渚生君） 次に、日程第3、市長からごあいさつをいただきます。

○市長（笹山義弘君） 登壇

皆様おはようございます。市長の笹山でございます。

若者議会の開催にあたりまして、ごあいさつ申し上げます。

まずは、先月、発生しました九州北部の記録的な集中豪雨により甚大な被害に遭われた方々に、皆様方とともに心からのお悔やみとお見舞いを申し上げたいと存じます。

また、今般の台風5号によりまして全国各地に大変な被害が出ているところでございます。このことについても、重ねてお見舞いを申し上げたいと存じます。

さて、この度は、本市では初めてとなる若者議会の議員をお引き受けいただき、また、大変お忙しい中に、ご出席いただきまして、重ねて厚く御礼を申し上げます。そして、議会開催についてこれまでご協力をいただきました、先生方、保護者の皆様をはじめとした関係者の皆様方に心から感謝を申し上げたいと存じます。

早速、末満議長、澁谷副議長におかれましては、議事進行をつつがなく行っていただき、感服しているところでございます。議事進行は、重要な役割でありますので、どうぞよろしく願いをいたします。

本日は本市内の中学生、高校生からなる20名の若者議員の方々からそれぞれご質問を頂いております。

皆様からいただきました一般質問を拝見させていただきましたが、若い人の目線からの素晴らしい質問であり、私も真摯に答弁させていただきたいと思っております。

皆様におかれましては、初めての若者議会であり、この議場での質問ということで、戸惑いや不安も多いことと思っておりますが、議員の方々にとっての議場が晴れの舞台となりますので、いつものとおり大きな声で堂々と質問して頂くことを期待しております。

結びに、本日の議会が皆様や本市にとって有意義なものとなることを期待するとともに、皆様のご健勝、ご活躍を祈念申し上げまして、ごあいさつとさせていただきます。

○議長（末満渚生君） ありがとうございます。

次に、日程第4、一般質問を行います。20名の議員より通告がありました。順次発言を許します。

○議長（末満渚生君） まず、1番、小宮律議員の発言を許します。

○1番（小宮律君） 登壇

皆さん、おはようございます。1番 加治木中学校の小宮律です。

先に通告した「桜島スマートインターチェンジについて」と「スポーツ環境の整備充実について」の2問について質問いたします。

一つ目は、「桜島スマートインターチェンジについて」です。今、桜島サービスエリアにスマートインターチェンジが設置されるということですが、その桜島スマートインターチェンジを設置することで、交通の流れがどのように変わると試算しているのかを教えてください。

また、それによってどのようなメリットがあるのかを具体的に示してください。

二つ目は、スポーツ環境の整備充実についてです。今現在、始良市には、温水プールが無いので、誰でも一年中気軽に泳げる大型温水プールを始良市に作ってほしいです。回答をお願いします。

○市長（笹山義弘君） 加治木中学校3年 小宮律議員の1問目、「桜島スマートインターチェンジについて」のご質問にお答えします。

現在の加治木インターチェンジと始良インターチェンジの利用交通量は、一日1万470台であり、桜島サービスエリアスマートインターチェンジが設置されることによる利用交通量は一日1,970台と予測しております。

このスマートインターチェンジの設置により、加治木インターチェンジの利用が7パーセント、始良インターチェンジの利用が30パーセント、それぞれ減少すると算定しています。

スマートインターチェンジが設置されることのメリットについては、災害や交通事故などによる国道10号の通行止めの際の迂回路として、また市外の病院への救急搬送時の時間短縮など、緊急時における利用の向上が図られるものと考えます。

また、市外からイオンタウン始良や総合運動公園などの公共施設への利用による交流人口の増大、さらに、産業、物流、観光など新たなまちづくりの展開が図られることとなります。

次に、2問目の「スポーツ環境の整備充実について」の質問にお答えいたします。

温水プールは、市民の方々からの設置要望が高い施設の一つであります。

市民が温水プールを利用することにより、健康の保持・増進につながり、将来的な健康寿命の延伸や医療費抑制などの効果が期待される施設であると感じております。

一方では、市が管理する施設の半数が、建築してから30年以上経過するなど、古い建物も多くなっており、今後それらの施設の維持管理費用が増加することが推測されています。

始良市としましては、将来を見据えた持続可能なコンパクトなまちづくりを実現する必要があると考えており、そのために、まずは「複合新庁舎の整備」を最優先に考えています。

温水プールについては、その必要性を感じていますので、今後、公共施設のあり方を検討する中で、既存の施設などの利用を含め、計画的な整備に努めていきたいと考えています。

以上、お答えとします。

○1番(小宮律君) ありがとうございます。複合新庁舎の整備とありましたがこの複合新庁舎とは、どのようなものをいつ整備するのかをおたずねします。

○市長(笹山義弘君) 複合新庁舎という表現を使わしていただいておりますが、従来は、庁舎機能を行政としては作ればいわけでありませけれども、これからの20年・30年後の始良市の姿を考えたときには、庁舎機能だけでなく、その他のいろいろな施設を取り入れた中での庁舎建設を考えた方が将来的に効率のいい拠点施設ができるということを考えています。そういうことから、言葉として複合新

庁舎という表現を使わしていただいています。
以上、答弁といたします。

○1番（小宮律君） これで質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（末満渚生君） これで1番、小宮律議員の一般質問を終わります。

○議長（末満渚生君） 次に、2番、前田純之介議員の発言を許します。

○2番（前田純之介君） 登壇

皆様、おはようございます。2番 帖佐中学校の前田純之介です。先に通告した「人口増加について」どのような活性化策を考えているかについて質問いたします。

鹿児島県内で唯一人口が増加している姶良市ですが、具体的にどのような政策が人口増加につながったと思われますか。

また、今後、更に発展、活性化を促すためにどのような政策を考えていらっしゃるのですか。

併せて、将来「姶良市」をどのような街にしていきたいとお考えですか。将来像を教えてください。さらに、その将来像に近づけるためにどのようなことをしていきたいとお考えですか。

さらに、その理想の姿に近づけるために、どのようなことをしていきたいとお考えですか。

以上で、演壇からの質問を終わります。

○市長（笹山義弘君） 帖佐中学校3年 前田純之介議員の「人口増加について」の質問にお答えいたします。

姶良市は、平成27年の国勢調査の結果、県本土では、唯一人口増加がみられた市となっております。

特に、子育て世代が、多く移り住んでこられたことが人口増加につながっており、これは、高規格道路の整備など、本市の都市機能が整ってきたことに加え、区画整理事業などによる宅地の創出、子ども医療費の助成拡大、規模の大きな企業やイオンタウン姶良の誘致、広報活動などにより、姶良市に魅力を感じて、移住・定住していただいたことによるものであると考えています。

今後は、空き家対策をはじめ、結婚新生活への支援、待機児童対策といった政策の充実を図りながら、中山間地域への移住・定住促進にも取り組んでいきたいと考えています。

また、本市の将来像を描く上で、将来を見据えた持続可能なコンパクトなまちづくりを実現する必要があると考えています。

そのためには、医療・福祉施設・商業施設や住居等がまとまって立地し、公共交通によりそれらの施設にアクセスが容易で、サービスが住まいなどの身近に存在する、いわゆる「多極ネットワーク型コンパクトシティ」を目指していきたいと考えています。

さらに、地域と一体となった市政運営を進めるために、小学校区ごとに設立された校区コミュニティ協議会と一緒に進めていきたいと考えています。

以上、お答えとします。

○2番（前田純之介君） ありがとうございます。先ほどのお話では、多極ネットワーク型コンパクトシティを目指していきたいと考えているということ、医療・福祉施設・商業施設や住居等がまとまって立地するということだったのですが、土地の確保など、どこに集中して建てるかなどは、考えていらっしゃるのでしょうか。ご回答をお願いします。

○市長（笹山義弘君） まずは、多極ネットワーク型コンパクトシティということについて少しお話をさせていただきたいと思いますが、始良市は、ご案内のとおり、始良町、加治木町、蒲生町の3町で合併をいたしました。そういうことから、それぞれの地区という言い方をしておりますが、3つの地区の拠点施設というものは、現在の庁舎機能をその拠点施設として整備をしていこうということを考えています。

そして、それらを有機的に公共交通機関などによって結んでいくわけですが、そのそれぞれの3地区にある、この公共施設、この拠点施設に対して、それぞれの校区がございます。それぞれの地区にはですね。校区をまた一つの拠点として、そこ有機的に、このそれぞれの3地区の拠点をつなぎ、そしてその3つの施設をまた有機的に結んでいくということの考え方が多極ネットワーク型コンパクトシティの考え方です。その中で、居住地域を分散するのではなくて、一定の量をそこに集積して、そして公共交通といいますか、車を使わなくても生活ができる環境ということも進めていくということです。それらを整備しながら、中山間地域においてもそういう急激に疲弊しない、そういう「まちづくり」もあわせて進めていこうということでございます。

○2番（前田純之介君） 始良市の人口増加に対する取組みについてよく理解できました。これで質問を終わります。ありがとうございます。

○議長（末満渚生君） これで2番、前田純之介議員の一般質問を終わります。

○議長（末満渚生君） 次に、3番、鳥越奏美議員の発言を許します。

○3番（鳥越奏美君）

登壇

皆さん、おはようございます。3番 蒲生中学校の鳥越奏美です。私は、先に通告した「地域の魅力と資源を活かした観光の振興」について質問いたします。

基本目標2の②「黒川岬等、既存の観光資源の掘り起こしや新たな観光ルートの開発」という取組みは始良市のこれからのとても大切だと思うのですが、竹林や森林の伐採を行うのですか。

今、世界では地球温暖化が深刻化しています。その理由の一つに森林の伐採があります。日本の都心部はもちろん、最近はその他でも森林の伐採が進んでいます。

私は始良市の観光資源の一つは「自然」だと思っています。もちろん、新しい観光資源を見つけることもとても大切だと思うのですが、今ある資源を見直すことも大切だと思います。

既存の観光資源の掘り起こしとはどういうふうに行うのか。新たな観光ルートの開発とは森林の伐採などは行うのか、をお伺いします。

以上で、演壇からの質問をおわります。

○市長（笹山義弘君） 蒲生中学校3年 鳥越奏美議員の「『地域の魅力と資源を活かした観光の振興』について」の質問にお答えします。

森林は、地球上の陸地の4分の1を占めており、豊かな森林が空気をつくり、水をたくわえ、土をつくるなど、私たち人類を含む動植物が、生活を営むための要件を生み出しています。

しかしながら、世界的には、森林破壊が急速化しており、その影響として、異常気象を引き起こす地球温暖化や砂漠化などが指摘され、国際的に取り組むべき喫緊の課題とされています。

そのような中、始良市の森林は、市の面積の66パーセントを占める約1万5千ヘクタールと、豊かな森林を有しているものの、人工林であるスギ・ヒノキの割合が高くなっています。

これら、人工林の伐採後の再造林率が低いことが、始良市の森林の課題であり、伐採と再造林のサイクルを確立させることを目標としています。

なお、始良市の観光資源は、「美しい自然」であると認識しており、山々の風景や川のせせらぎなどの自然環境を破壊することなく、新たな観光資源を発見し、ありのままの素材を活かした、観光プログラムを築き上げることを目指しています。

始良市では、黒川岬などの既存の観光資源について、森林を伐採することなく、近隣の観光資源を組み合わせ、周遊できるようなルート整備をしていきたいと考えています。

以上、お答えとします。

○3番（鳥越奏美君） 始良市の地域の魅力と資源を活かした観光の振興についてよく理解することができました。ありがとうございました。

○議長（末満渚生君） これで3番、鳥越奏美議員の一般質問を終わります。

○議長（末満渚生君） 次に、4番、新福陽奈議員の発言を許します。

○4番（新福陽奈君） 登壇

4番 帖佐中学校の新福陽奈です。私は、先に通告した始良市のキャッチフレーズ「住むなら今。始良市」について質問します。

始良市は、全国の移住しやすい街ランキングで上位に入ったり、鹿児島県内住みよさランキングで1位になったりしていますが、始良市の魅力はどのようなところだと思われませんか。

また、その魅力を、どのようなところで、どのようにPRされていますか。

併せて、その効果、PRの有効性を実感されておられますか。ご回答をよろしくお願いします。

以上で、演壇からの質問を終わります。

○市長（笹山義弘君） 帖佐中学校3年 新福陽奈議員の『「住むなら今。始良市」始良市のキャッチフレーズについて』の質問にお答えいたします。

住みよさランキングなどでの高い評価は、始良市の安全・安心なまちづくり、交通アクセスの良さや、買い物・病院など、生活の利便性などの魅力を評価していただいたものと考えています。

さらに始良市には、山、海、川などの自然あふれる魅力や、史跡などの歴史的の魅力、工芸品や伝統行事などの伝え継がれた魅力、住む人の温かさなど、多くの魅力があります。

始良市では、それらの魅力を市内外の多くの人に知っていただくために、市制施行5周年を機に、PR動画「AIRA CITY」を作成しました。

始良市の魅力を6分間に凝縮し、動画閲覧サイトやホームページでご覧になられた方に、始良市の良さをたっぷり感じていただいています。

また、私自身が、県内外の多くのイベントに直接参加したり、始良にゆかりのある方々が全国でPRされたり、さらにテレビ・ラジオなど、あらゆる機会を捉えて始良市をPRしています。

PRの効果は、すぐに目に見えたり、数字で測れたりするものではないかもしれませんが、手応えは感じるところです。

今後も、たくさんの方に始良市のことを知ってもらいたい、魅力を伝えたい、そして市民の方々が誇りを持っていただけるまちになるよう一層努力するとともに、これからも始良市の魅力を伝え広めていきたいと考えています。

以上、お答えとします。

○4番(新福陽奈君) 始良市の魅力についてお聞きし、あらためて始良市は「住みやすいまち」だということを感じました。またPRについてもよく理解することができました。ありがとうございました。

○議長(末満渚生君) これで4番、新福陽奈議員の一般質問を終わります。

○議長(末満渚生君) 次に、5番、多久島岳登議員の発言を許します。

○5番(多久島岳登君) 登壇

おはようございます。5番 重富中学校多久島岳登です。私は、先に通告した「各校のトイレについて」と「交通について」の2問について質問いたします。

まず、最初に、「各校のトイレについて」質問いたします。現在、多くの学校が災害時の避難場所となっています。しかし、洋式トイレが少なく、実際に災害がおきた時に高齢者や幼児のトイレが不便になる可能性があります。

そのため、学校のトイレを洋式トイレにすることを図れないか、おたずねします。

次に、「交通について」質問いたします。始良市は県央ということもあり、鹿児島市内や国分方面に向けて通学する学生が多いです。

多くの学生がJRを利用していますが、大雨で運行見合わせになることがあり、親が送迎できない場合は、自宅待機になると聞きます。

そのような場合に、バスなど代替の交通手段が素早く対応できないか、対応していただくような手立てはないか、おたずねします。

以上で、演壇からの質問を終わります。

○市長(笹山義弘君) 重富中学校3年 多久島岳登議員の2問目、「交通について」のご質問にお答えします。

なお、1問目の「各校のトイレについて」の質問は、小倉教育長がお答えいたします。

JR九州では、大雨や強風により、列車の安全な運行が難しい場合は、列車の運行を見合わせることでしており、その際、代替バスを運行するのは、列車に乗車している方に対してのみであり、それ以外の方への代替輸送は行っていないとのことです。

しかし、土砂崩れなどの災害で、長期間にわたり列車の運行ができない場合には、その区間をバスで代替輸送を行うこともあるようです。

始良市では、大雨や強風による列車の運行情報について、防災・地域情報メールや、あいらびゅーFMを活用して、いち早く情報の提供に努めています。

また現在、地域公共交通の利用促進を図るための一つの事業として、路線バスの運行時刻や乗継経路をスマートフォンなどで簡単に検索できるアプリを検討中ですので、このアプリを活用し、JR日豊本線と並行して走っている路線バスを利用していただければと考えています。

○**教育長（小倉寛恒君）** 1問目の「各校のトイレについて」のご質問にお答えします。

洋式トイレは、家庭はもちろん、社会全般的に普及が進んでおり、現在始良市の学校では、洋式トイレの設置は全体の約30パーセントです。

現段階では、全てのトイレを洋式化に改修する計画はありませんが、個々のトイレの改修や新設においては、学校からの要望を優先しながら、また、災害時の避難所としての学校のトイレがどうあれば良いか、多方面からトイレの洋式化を検討し、進めていきたいと考えているところです。

以上、お答えとします。

○**5番（多久島岳登君）** どのような対策が行われているのか、よく分かりました。これで質問を終わります。ありがとうございました。

○**議長（末満渚生君）** これで5番、多久島岳登議員の一般質問を終わります。

○**議長（末満渚生君）** 次に、6番、大脇千愛議員の発言を許します。

○**6番（大脇千愛君）** **登壇**

おはようございます。6番 加治木中学校の大脇千愛です。私は、先に通告した「あいらブランドについて」と「防犯灯設置等について」の2問について質問いたします。

1問目の「あいらブランドについて」です。「あいらブランドについて」あまり聞いたことはないのですが、「あいらブランド」の確立に向けて、どのような取り組みをする予定なのか、具体的な例を挙げて説明をお願いします。

2問目の「防犯灯設置等について」です。私たちが、登下校をする際に、危険な場所があります。防犯灯や街灯を設置することで、安心して暮らせるまちになると思いますが、どこに・どれくらい・いつまでに設置する予定なのかを教えてください。

以上で、演壇からの質問を終わります。

○**市長（笹山義弘君）** 加治木中学校3年 大脇千愛議員の1問目、「あいらブランドについて」の質問にお答えします。

始良市は、化学肥料や農薬を一切使用しない、有機農業が昔から盛んな地域で、

有機農業に取り組んでいる農家戸数は35戸で、県内一を誇っています。

安全・安心な始良市の「有機野菜」や「キャロット製品」、「はだか麦味噌」などは、あいらブランドになっており、スーパーに販売コーナーを設けたり、レストランでは有機野菜を使ったメニューを提供したりしています。

このほか、各種イベントでは、これらの食材を用いた試食品を提供して、ファンを増やす仕掛けを行い、またイメージキャラクターを製作して幟やハッピー、包装袋などに印刷して宣伝するなど、幅広いPR活動に取り組んでいます。

また、始良市産の農林水産物を活かした、新しい加工品の開発、既製品の改良や販路拡大を目的とした事業を行う個人や事業所に対して、要する経費のうち200万円を限度として補助金を支給し、ブランド化に向けた取組みを積極的に支援しています。

次に、2問目の「防犯灯設置等について」の質問にお答えいたします。

防犯灯については、自治会などからの要望に基づいて、皆さんの通学路上で、自治会と自治会の境で明かりがなく、暗い場所に設置することとしていることなど、それぞれの役目による設置の基準や地域の状況、緊急度など現地調査をした上で設置しているため、毎年、灯数を決めて設置しているものではありません。

なお、市が所有し、管理する防犯灯などについては、通学路に設置されている通学路防犯灯、市道沿いに設置されている街路灯があり、平成29年3月末現在では、通学路防犯灯が227灯、街路灯が347灯設置されています。

以上、お答えといたします。

○6番(大脇千愛君) 「あいらブランドについて」と「防犯灯設置等について」に対する取組みや対策について、よく理解することができました。ありがとうございました。

○議長(末満渚生君) これで6番、大脇千愛議員の一般質問を終わります。

○議長(末満渚生君) 次に、7番、小川晴斗議員の発言を許します。

○7番(小川晴斗君) 登壇

おはようございます。7番 山田中学校の小川晴斗です。私は、先に通告した「各種大規模スポーツ大会の開催と観戦機会の充実について」質問いたします。私は、始良市への県体育館の誘致を実現させてほしいと思っています。

私は、バトミントン部で3年間やってきたスポーツが持つ力を実感しています。大規模なスポーツ大会が始良市で開催できれば、地域はとて盛り上がると思います。全日本クラスの選手が合宿に来たり、コンサートやイベントが行われたりしたらたくさんの方が集まります。来場者は食事をしたり飲み物を買ったりします。始良市の特産物の販売にもつながります。地域に新しい収入源が生まれると

いうことです。

しかし、この提案には、一つ問題があります。それは、いまの始良市には、宿泊施設が無いということです。そこで、対策として空き家の活用を提案します。空き家を宿泊施設として利用できるようにしたり、民泊の仕組みを整えたりすることができれば、地域に人が戻ってくると思うからです。

始良市には、大きなショッピングセンターができてとても便利です。人口も増えています。しかし、私の住む山田や北山地区では、過疎化が進み子どもや若い人がどんどん少なくなっています。この空き家の活用ができれば、お年寄りのやる気が出てくることでしょうか。Iターン、Uターンの人たちも増えるかもしれません。そして私たちも自分たちの地域のことも、もっと知って積極的に関わっていけるのではないのでしょうか。空き家の活用による地域活性化、そしてそのための新しい県体育館の誘致を私は提案します。

以上で、演壇からの質問を終わります。

○市長（笹山義弘君） 山田中学校3年 小川晴斗議員の「各種大規模スポーツ大会の開催と観戦機会の充実について」の1点目のご質問にお答えします。

始良市では、以前、県立の体育施設等の誘致を目指し、署名活動や陳情活動を行ったこともありますが、今回の鹿児島国体では、既存の施設を活用する方針であり、新たな大規模施設の建設予定はないとのこととあります。

始良市としましては、将来的に大規模施設も期待されますので、引き続き誘致活動に努めていきたいと考えています。

2点目のご質問にお答えします。

スポーツイベント関連では、鹿児島ユナイテッドの試合の誘致、鹿児島マラソンでのおもてなし、日本女子ソフトボールリーグ所属のホンダ リベルタをはじめ、亜細亜大学などの硬式野球部のスポーツキャンプの誘致を行っています。

これらは、経済の活性化にも寄与していると考えますので、引き続きスポーツキャンプの誘致に向けてPRしていきます。

また、2020年に開催される鹿児島国体では、始良市でバスケットボール、ライフル射撃、女子ゴルフの3競技が行われることとなっています。

バスケットボール会場の総合運動公園体育館と大楠アリーナは、車で15分程度の比較的近い距離にありますので、これを活かしたスポーツイベントを開催し、経済の活性化につなげることが出来ないか研究していきたいと考えています。

さらに、平成29年度から総合運動公園内に鹿児島県では唯一となる「フットボールセンター」の整備を始めますので、これを活用したスポーツイベントも計画していきたいと考えています。

また先ほどから空き家活用のご質問もいただきましたので併せてお答えいたします。インバウンド対策を含めてスローライフそしてグリーンツーリズムなどいろいろな活動が行われていくというふうに考えます。そういう中で、滞在型交

流人口を増やすということについては、この空き家活用のことも非常に大事であろうというふうに思います。

そういうことで今後、観光資源の一つとしてこのインバウンド対策も含めて、このグリーンツーリズム的な始良市の観光活用ということについて考えた場合には、このホームステイをする、そういう考え方も必要になってこようと思いますので、それらことも含めて今後対策をしていきたいというふうに思います。

○7番（小川晴斗君） これで質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（末満渚生君） これで7番、小川晴斗議員の一般質問を終わります。

○議長（末満渚生君） 次に、8番、長谷川京香議員の発言を許します。

○8番（長谷川京香君） 登壇

おはようございます。8番 重富中学校の長谷川京香です。私は、先に通告した「側溝のふたについて」質問をいたします。

私が、通学をする時に、ふたの付いていない側溝がよくあります。そのような側溝に、自転車通学生が落ちてけがをするという事故が何回かありました。ふたのない側溝は、とても危険なので、すべての側溝にふたをつけることはできないでしょうか。

また、金属のふたは雨の日になるとすべりやすくなるので、すべりにくい素材に変えることはできないでしょうか。

これらのことが可能であるか、お伺いします。

以上で、演壇からの質問を終わります。

○市長（笹山義弘君） 重富中学校3年 長谷川京香議員の「側溝のふたについて」の質問にお答えいたします。

側溝にふたをかぶせることは、構造上可能ですが、側溝の目的には、道路排水や生活排水、また農地への用排水路の機能を兼ねているものもあることから、皆さんの地域で行われている側溝清掃活動が容易にできなくなります。

始良市では、道路の形態などにより、ふたをかぶせる目安を設けており、道路の幅が4メートル未満の箇所や、4メートル以上であっても車両や歩行者等の通行量が多く、危険な箇所など通行状況に応じてふたを設置しています。

また、金属製のふたについては、道路の表面水を側溝へ流れ易くする目的で設置していますが、最近の製品には滑り止めの機能が付いたものや、コンクリート製の集水蓋が製造されていることから、今後改修する場合は、このような製品を取り入れていきたいと考えています。

なお、始良市では、各小学校ごとに組織しているスクールゾーン対策委員会を

活用し、学校、保護者、道路管理者、警察、自治会等が参加する合同点検を中学校の通学路も含めて実施しています。

合同点検の結果を踏まえ、対策が必要な箇所については、歩道整備やガードレールなどの設置、交通規制などについて検討を行い、対策を講じているところです。

以上、お答えいたします。

○8番（長谷川京香君） 始良市でどのような取組みが行われているのか、よくわかりました。ありがとうございました。

○議長（末満渚生君） これで8番、長谷川京香議員の一般質問を終わります。

○議長（末満渚生君） 次に、9番、楠元しほり議員の発言を許します。

○9番（楠元しほり君） 登壇

皆さん、おはようございます。9番 加治木中学校の楠元しほりです。私は、先に通告した「災害に強い生活基盤の整備について」と「子どもの基本的生活習慣の確立を図る活動の推進について」の2問について質問いたします。

まず、はじめに「災害に強い生活基盤の整備について」質問します。災害に強い生活基盤の整備とは、何をどのように整備することを指しているのかを具体的に示してください。

次に2問目の「子どもの基本的生活習慣の確立を図る活動の推進について」質問します。子どもの基本的生活習慣の確立を図る活動の推進において、一番の柱だと考えている取組みを教えてください。

以上で、演壇からの質問を終わります。

○市長（笹山義弘君） 加治木中学校3年 楠元しほり議員の1問目、「災害に強い生活基盤の整備について」の質問にお答えいたします。

なお、2問目の「子どもの基本的生活習慣の確立を図る活動の推進について」の質問は、小倉教育長がお答えいたします。

始良市では、安全な都市づくりの目標を掲げた「都市計画マスタープラン」を策定しており、その中で大きく4つの方針を定めています。

第1に、地震や火災に強い都市づくりを進める。

第2に、水害やがけ崩れの防止に努める。

第3に、災害のときの緊急輸送路の確保に努める。

第4に、交通事故や犯罪に対する安全性の確保を図る。

具体的には、地震への対策として、主に公共施設の建替えや建築物の耐震化などを進めます。

水害対策については、平成29年度から、大雨のときの排水状況を調査した上で、排水対策計画を作成し、整備を進めていきます。

道路整備に当たっては、避難経路や救援経路など、災害時に緊急輸送路として必要な道路の幅を考えて整備していきます。

歩行者や自転車を守るためにガードレールやロードミラーを取り付けたり、スクールゾーンの指定や交通規制をしたりすることによって、安全な交通環境を整備していきます。

始良市においては、今後も総合計画や各種計画に基づき、安全安心なまちづくりなど、市民の方々に直結する施策や地域づくりに関する事業を着実に推進していきたいと考えています。

○教育長(小倉寛恒君) 2問目の「子どもの基本的生活習慣の確立を図る活動の推進について」の質問にお答えいたします。

家庭や学校において、基本的生活習慣が確立されるということは、社会で生きていく上で必要な知識、技術、資質が身に付くということです。

それは、将来、他人と共同生活を送る基盤ともなります。

家庭において、朝、家族に必ず挨拶をする、名前を呼ばれたら「はい」とはっきり返事をする、履き物を揃える、家を出るときは誰とどこに行くかを家族に告げることなどを、親からしつけられた子どもは、共同生活に必要な集中力が身に付いているため、社会に出ても、他人との関わりがさわやかで、集団生活の中に融和をもって受け入れられる若者として歓迎されます。

学校における基本的生活習慣の確立は、子どもが学校の規則を守る中で確立されます。

規則を守るときには、子どもが自分勝手にせず、何かを我慢をしたり、何かを犠牲にしたりすることが必要ですが、結果として集団に貢献したり、自分を高めたりすることにつながり、大きな達成感を得ることができます。

子どもたちにきちんとしつけを行って、基本的な生活習慣を身に付けさせることは、保護者や先生など大人が、日常的に取り組んでいただくことで、子どもに対する最大の責任をはたすことにつながるというふうに考えております。

以上、お答えとします。

○9番(楠元しほり君) どのような対策・取組みがされているのかよくわかりました。ありがとうございました。

○議長(末満渚生君) これで9番、楠元しほり議員の一般質問を終わります。

○議長(末満渚生君) 次に、10番、福留海優議員の発言を許します。

○10番（福留海優君） 登壇

皆さん、おはようございます。10番 帖佐中学校の福留海優です。私は、先に通告した「始良市の今後の街づくり、観光について」質問いたします。

2020年に「東京オリンピック」、そして「かごしま国体」が開催されますが、それらの行事に伴い、始良市では、何か行ったり取り組んだりする予定はあるのですか。

どのような街づくりを想起されているのかがたいです。

また、近年、鹿児島にはアジア系を中心とした外国人の観光客が多数訪問するようになってきました。始良市では観光客を呼び込む、誘引するために行っていること、もしくは、今後行おうとしている取組みや思案している事業はありますか。ご回答よろしく申し上げます。

以上で、演壇からの質問を終わります。

○市長（笹山義弘君） 帖佐中学校3年 福留海優議員の「始良市の今後の街づくり、観光について」の質問にお答えします。

この先3年間、始良市や県内各地でビッグイベントの開催が待ち構えており、平成30年は、NHK大河ドラマ「西郷どん」の放映と明治維新150年、31年は、島津義弘公没後400年、また32年は、鹿児島国体に加えて、国内では、東京オリンピックとパラリンピックが開催されます。

これらのイベントにより、始良市への交流人口の増加も見込まれることから、これを絶好の機会と捉えてリピーターを増やし、定住人口の増加へとつなげていく事業を展開していく予定です。

また、外国人観光客の訪日数が増加している要因として、本県では、航空便「鹿児島～香港線」の就航や「九州新幹線 みずほ」の増便などにより、その増加率は顕著な伸びを示しており、始良市も、その流れに同調している傾向にあります。

始良市では、平成29年度において市内観光地の要所にWi-Fi環境を整備し、また外国人観光客に対しては、市内観光地の概要と魅力を伝えるために、多言語に対応できる音声ガイドシステムのアプリを導入する予定です。

今後は、パンフレットやアプリ、SNSなどを利用した情報発信の充実、また、多言語で表記した観光看板の整備等について進めていきます。

以上、お答えとします。

○10番（福留海優君） 始良市の「観光」や「まちづくり」についてよく理解することができました。県外や国外から来られる観光客の皆さんにとって始良市が行う政策はすばらしいものだと思います。ありがとうございました。

○議長（末満渚生君） これで10番、福留海優議員の一般質問を終わります。

○議長（末満渚生君） 次に、11番、留野桃心議員の発言を許します。

○11番（留野桃心君） 登壇

11番 蒲生中学校の留野桃心です。私は、先に通告した『待機児童の解消』への取り組みについて質問いたします。

全国的に問題となっている待機児童の数は年々増加してきています。

「保育所等の待機児童の解消」なども「始良市総合戦略」の「基本目標」の一部として戦略を立てている始良市では、どのような取り組みを計画しているのか知りたいです。

また、人口を2025年に8万人にすることも目標に掲げていますが、人口が増えるということは今まで以上に、待機児童も増えていくということになります。さらに、現在も不足する保育士などがさらに減少したり、増加しなかったりしたら待機児童の解消を目指す上で課題も増えます。

これから実行しようとしている『待機児童の解消』への取り組みと、万が一、将来保育士などが人手不足に陥ってしまった場合の待機児童への対応や支援はあるのか、ある場合はどういった対応・支援をしていくつもりなのか教えてください。

以上で、演壇からの質問を終わります。

○市長（笹山義弘君） 蒲生中学校3年 留野桃心議員の『待機児童の解消』への取り組みについての質問にお答えします。

待機児童の解消問題については、保育需要の高まりにより、始良市だけではなく、全国的にも大きな課題となっています。

始良市では、待機児童の解消に向けて、保育所の定員の見直し、定員枠を超える入所の認可、育児休業明けの保護者がスムーズに入所できる体制を整えるなど、まずは現状の施設で対応できることを実施していきたいと考えています。

また、保育士については、全国的に保育現場の労働環境や賃金などに不満の声が高まっており、国において、これらが改善されなければ安定した確保ができない状況にあります。

核家族化や地域の人間関係の希薄化など、近年の子育てをめぐる現状を踏まえ、今後は社会全体で子育てを支援する仕組みを検討していかなければならないと考えています。

始良市においても、保育士不足に陥らないよう、国や県と連携を図りながら、保育士の育成や支援などに積極的に取り組み、また、計画的に保育士を確保できる対策を調査していきたいと考えています。

以上、お答えいたします。

○11番（留野桃心君） これで質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（末満渚生君） これで11番、留野桃心議員の一般質問を終わります。

○議長（末満渚生君） 次に、12番、澁谷翠議員の発言を許します。

○12番（澁谷翠君） 登壇

皆さん、おはようございます。12番 重富中学校の澁谷翠です。私は、先に通告した「家庭や学校で本に親しむ活動の推進について」質問いたします。

まず、具体的に何か実行しているのかお伺いします。

そして、重富中学校では、本とのコラボ給食や、読書旬間などを行っています。が、これらは、対策に入るのでしょうか。

最後に、始良市立中央図書館の移動図書あいあい号は、重富小学校には巡回していますが、何故重富中学校には巡回していないのか、おたずねいたします。

以上で、演壇からの質問を終わります。

○教育長（小倉寛恒君） 重富中学校3年 澁谷翠議員の「家庭や学校で本に親しむ活動の推進について」の質問にお答えします。

子どもたちが生涯にわたって、読書習慣を身に付けるため、子ども自身がその発達段階に応じて、読書の楽しさを知ることができるよう、中央図書館では学校の図書室と連携し、様々な取組みを行っています。

「本とのコラボ給食」は、最初、中央図書館の子ども読書活動推進事業の一つで「ものがたりレシピをいただきます」としてスタートしたものです。

物語の中に出てくるメニューや食べ物を学校給食の献立に取り入れることで、新たな本との出会いや読書が身近で楽しいものと感じる機会を提供することができ、現在では市内の各学校でも実施されています。

移動図書館「あいあい号」は、中央図書館や加治木図書館より概ね2キロメートル以上にある、市内の保育園・幼稚園・学校や病院・福祉施設など、遠隔地などの様々な事情により、図書館サービスが受けられない地域を中心に29か所を巡回しています。

このようなことから、移動図書館「あいあい号」が全ての学校を巡回することはできませんので、中央図書館の本が必要な場合、学校の図書室を通して、借りることができる制度もありますので、これを利用していただければと考えています。

以上、お答えいたします。

○12番（澁谷翠君） どのような対策をなされているのか、よくわかりました。また、学校の図書室をとおして中央図書館の本が借りることができる制度があることを知ることができました。以上で質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（末満渚生君） これで12番、澁谷翠議員の一般質問を終わります。

○議長（末満渚生君） ここでしばらく休憩します。15分間程度とします。なお、後半は議長を交代し、澁谷議長が会議の進行を行います。

（午前10時11分休憩）

○議長（澁谷翠君） 議長を交代しました。

休憩前に引き続き、会議を開きます。

（午前10時25分開議）

○議長（澁谷翠君） 一般質問を続けます。

13番、末満渚生議員の発言を許します。

○13番（末満渚生君） 登壇

13番 蒲生高校の末満渚生です。私は、先に通告した「JR重富駅、錦江駅及び桜島サービスエリアの活用について」質問いたします。

これらの写真は、JR重富駅、錦江駅、桜島サービスエリアに花プランターを設置した写真です。

蒲生高校では、花プランターを設置したり、サービスエリアにおいては、数々のキャンペーンのボランティアに積極的に参加しています。

活用対策について、どのような協議が行われているか、お伺いしたいと思います。

以上で、演壇からのご質問を終わります。

○市長（笹山義弘君） 蒲生高等学校2年 末満渚生議員の「JR重富駅、錦江駅及び桜島サービスエリアの活用について」の質問にお答えいたします。

蒲生高等学校生徒会の皆さんによる桜島サービスエリア、JR重富・帖佐・始良・錦江の各駅への花プランターの設置については、きれいに咲き誇る花が、人々の心を和ませていることに、心から感謝しています。

さて、重富駅と錦江駅は、平成27年3月に、無人駅となりましたが、重富駅は、JR九州から始良市が駅業務に関する委託を受け、駅従事者を配置し、乗車券や定期券の窓口販売や清掃などの業務を昼間に限り行っています。

始良市では、来月中旬に「なぎさのハイカラ夜市」を重富駅やなぎさ公園で開催し、賑わいの機会を創出し、重富駅からの誘客による駅周辺の活性化を図る計画です。

また、駅舎については、観光や地域の拠点施設としての活用をJR九州と協議を進めているところでもあります。

錦江駅については、今後、地域や地元の方々からの駅のあり方の要望があれば、駅の所有者であるJR九州と協議してまいります。

桜島サービスエリアについては、スマートインターチェンジの整備を進めており、この整備が完了すると、サービスエリアの付加価値も高まり、さらに交流人口も増えるものと期待しています。

今後も、校区コミュニティ協議会をはじめとする各種団体等の意見を聴きながら、利活用などについて検討していきます。

以上、お答えいたします。

○13番(末満渚生君) ありがとうございます。桜島サービスエリアに関する再質問をします。桜島サービスエリア・スマートエリアの工事の進捗状況は順調ですか。お伺いしたいと思います。

○建設部次長兼土木課長(徳部健一君) はい、お答えいたします。桜島スマートインターチェンジの整備につきましては、概ね80パーセント程度の工事の発注を済ましているところであり、今後も事業の推進に向けて整備をはかっていきたいと思っております。

以上です。

○13番(末満渚生君) これで質問を終わります。ありがとうございます。

○議長(澁谷翠君) これで13番、末満渚生議員の一般質問を終わります。

○議長(澁谷翠君) 次に、14番、内村辰良議員の発言を許します。

○14番(内村辰良君) 登壇

皆さん、おはようございます。14番 加治木工業高等学校の内村辰良です。先に通告した「待機児童の解消について」質問いたします。

現在、始良市では、仕事をしたくても希望が通らず、すぐに就職できない方々がいらっしゃいます。実際に自分の母が就労する際に希望が通らず、保育園が決まらずに苦勞していました。このような問題をどう解決していくか、待機児童を解消するためにどのような取組みを行っているか、おたずねします。

以上で、壇上からの質問を終わります。

○市長(笹山義弘君) 加治木工業高等学校2年 内村辰良議員の「待機児童の解消について」の質問にお答えいたします。

待機児童の解消問題については、保育需要の高まりにより、始良市だけではなく、全国的にも大きな課題となっています。

始良市では、待機児童の解消に向けて、保育所の定員の見直し、定員枠を超える入所の認可、育児休業明けの保護者がスムーズに入所できる体制を整えるなど、まずは現状の施設で対応できることを実施していきたいと考えています。

なお、本年4月1日には、西始良に認定子ども園「ひまわり子ども園」、イオンタウン始良東街区内に「イオンゆめみらい保育園あいら」が開園されています。

また、始良市では、本年5月から、民間の委員の方々に構成する「公立保育所等あり方検討委員会」を設置し、保育所の課題やその課題に対する検討を行っていただいております。今後、その検討結果に基づいて市として方針を取りまとめることとしています。

以上、お答えとします。

○14番（内村辰良君） これで質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（澁谷翠君） これで14番、内村辰良議員の一般質問を終わります。

○議長（澁谷翠君） 次に、15番、下津佐拓郎議員の発言を許します。

○15番（下津佐拓郎君） **登壇**

皆さん、こんにちは。加治木高校2年の下津佐拓郎です。私は、先に通告した「働くならあいらについて」と「訪れるならあいらについて」の2問について質問いたします。

まず一つ目「働くならあいらについて」です。地域通貨ポイント制度のサービスにより地域活性化・自治体サービスの向上などが期待されますが、地域通貨ポイント制度の課題点についてお伺いします。

そして二つ目です。「訪れるならあいらについて」、若者が都市に集中し、地方では過疎化の問題が広がっており、地方創生がうたわれる現代、若者の流出は労働力や税収の損失であります。始良市は、若者定住への支援について具体的にどのような支援を行っているのか、また、その結果についてお伺いします。

以上で、演壇からの質問を終わります。

○市長（笹山義弘君） 加治木高等学校2年 下津佐拓郎議員の1問目、「働くならあいらについて」の質問にお答えいたします。

地域通貨の制度を運営するためには、運営組織を立上げ、参加者が、自分の提供できるモノやサービスと提供してもらいたいモノやサービスを、あらかじめ届け出るといった手続きが必要となります。

また、自由参加のため、参加を促すための宣伝活動や地域通貨の支払い方法など、通常の通貨制度とは異なった制度を新たに構築していかなければならない部分もあります。

このような地域通貨制度を構築し運営するためには、経費が掛かりますので、それを誰が負担するのかということが大きな課題となります。

始良市では、地域通貨として、イオン株式会社の電子マネー「始良きんこうWAONカード」のシステムが活用できないか模索を続けています。

現在は、通常、通貨で買い物をした場合の特典としてポイントを付与するシステムのみの運用ですが、このシステムが本来持っている機能を活用することで、市民への地域通貨への理解を深め、始良市の地域通貨制度を構築していくことも一つの手法であると考えているところです。

なお、イオン株式会社との地域貢献協定により、始良きんこうWAONカードを使って支払われた金額の0.1パーセントが、始良市に寄附されることとなっており、平成28年度は30万2,826円の寄附をいただき、本市の産業振興や地域活性化事業に活用することとしています。

次に、2問目の「訪れるならairaについて」の質問にお答えします。

始良市では、平成29年度から、晩婚化に対する少子化対策や若年者が少ないため、小学校の維持や地域の活性化が心配される地域に特化した事業を実施しています。

まず、「結婚新生活支援事業」として、始良市に定住しようとする若者などを応援するため、市内で結婚し、新生活を始める方に住宅の購入費や賃借料に対し、一定の要件はありますが、新生活を後押しするために補助金を交付する事業をスタートいたしました。

また、「ふるさと移住定住促進事業」として、若者の定住を促進し、活力あるまちづくりを目的として、市内の中山間地域の小学校区を対象に、住宅取得等に対し、最大310万円の補助金を交付することとしています。

いずれの事業も、今年度からの事業であり、これまでも問い合わせはありますが、まだ交付実績には至っていない状況です。

以上、お答えとします。

○15番（下津佐拓郎君） 始良市の地域通貨、若者に対する取組みについて、よく理解できました。ありがとうございました。

○議長（澁谷翠君） これで15番、下津佐拓郎議員の一般質問を終わります。

○議長（澁谷翠君） 次に、16番、馬場華鈴議員の発言を許します。

○16番（馬場華鈴君） 登壇

皆さん、おはようございます。16番 龍桜高校の馬場華鈴です。私は、先に通告した「医療相談等の窓口について」について質問いたします。

龍桜高校では、医療に携わっている学科があり、地域の医療について学習した

いと考えたため、この質問をあげさせていただきます。医療相談や健康診断などは、どこで受けられるのか。また、窓口はどこにあるのかおたずねします。

以上で、演壇からの質問を終わります。

○市長（笹山義弘君） 龍桜高等学校3年 馬場華鈴議員の「医療相談等の窓口について」の質問にお答えいたします。

医療相談については、一般的には、始良市など各市町村や、鹿児島県が設置している7か所の地域医療安全支援センターが窓口になっており、始良地区関係の地域医療安全支援センターは、霧島市隼人町にある始良保健所内に設置されています。

また、健康診断のうち、医療保険に加入している40歳から74歳までの方が対象となる特定健診や、75歳以上の方を対象とした長寿健診は、それぞれの方々の健康保険証を発行している組織が窓口になっており、個人事業者などで国民健康保険に加入されている方は市町村が窓口となります。

始良市では、特定健診や長寿健診を始良地区医師会に委託し、医療機関で受診していただいています。

また始良市では、各種がん検診を集団検診と個別検診で実施しており、その種類は、20歳以上の女性を対象とした子宮頸がん検診、40歳代などの女性を対象とした乳がん検診、40歳以上の方を対象とした胃がん・大腸がん・肺がん・腹部超音波の各種検診となっています。

その他にも、受診対象者ごとに、血液検査による肝炎ウイルス検診や前立腺がん検診、歯周疾患検診なども実施しています。

以上、お答えとします。

○16番（馬場華鈴君） 始良市の医療に対する取組みについて、よく理解できました。ありがとうございました。

○議長（澁谷翠君） これで16番、馬場華鈴議員の一般質問を終わります。

○議長（澁谷翠君） 次に、17番、伊福俊之介議員の発言を許します。

○17番（伊福俊之介君） 登壇

17番 加治木高校の伊福俊之介です。私は、先に通告した「給付型の奨学金とその後の鹿児島での生活のサポートについて」質問いたします。

私たちは高校を卒業後、大学に進学するのですが、その際の奨学金について、給付型の奨学金を検討して頂けないでしょうか。

さらに、県外の大学や専門学校を卒業後、鹿児島で働きやすい環境づくりについての政策をおたずねします。

以上で、演壇からの質問を終わります。

○**教育長（小倉寛恒君）** 加治木高等学校3年 伊福俊之介議員の「給付型の奨学金とその後の鹿児島での生活のサポートについて」のご質問にお答えします。

給付型の奨学金は、国において、平成29年度から経済的に困難な状況にある家庭の生徒に対して、大学等への進学を支援することを目的とした制度がスタートしており、全国で約2万人を対象としています。

また、鹿児島県育英財団には、優秀な人材の育成を目的とした給付型奨学金や、卒業後の定住促進を目的とする給付型奨学金制度があります。

始良市において、給付型奨学金制度を創設することは、新たな財政的な負担を生むことにもなりますので、国の制度の運用状況や、県や他の自治体などの動きに注意しながら、学生を応援するための奨学金制度を調査研究していきます。

また、若者が大学等を卒業後、地元で生き活きと働けるよう、企業誘致やよりよい住宅環境、交通網の整備など、始良市総合計画を策定し、将来を見据えたまちづくりに取り組んでいきます。

以上、お答えとします。

○**17番（伊福俊之介君）** ありがとうございます。大学等の卒業後、鹿児島で働きやすい環境づくりについて、加えて質問します。

現在、鹿児島県の高校卒業後、その4割は県外に進学・就職するという時代があり、私自身も県外の大学に進学し、見聞を広めたいと思っています。その中で、始良市が始良に定住を促進するうえで、経済的な支援や雇用におけるサポートを検討しておりますでしょうか、回答をお願いします。

○**企画部長（福留修君）** はい、お答えいたします。具体的に生活の支援とか、そういったものについての制度は作っておりませんが、私どもとしましては、いろいろな業種の企業をできるだけ多く誘致しようというふうに努力しているところでございます。

そして、皆様が、できるだけ身近な場所で就職の相談がしやすいようにということで、霧島市にあるハローワークとは別に始良市内にも「ふるさとハローワーク」という事務所を別に設置させていただいて支援をしているところでございます。以上で、ございます。

○**17番（伊福俊之介君）** ありがとうございます。これで、質問を終わります。

○**議長（澁谷翠君）** これで17番、伊福俊之介議員の一般質問を終わります。

○**議長（澁谷翠君）** 次に、18番、徳重月議員の発言を許します。

○18番（徳重月君） 登壇

18番 龍桜高校の徳重月です。私は、先に通告した「始良市社会福祉協議会との連携について」と「始良市のインフラ整備について」の2問について質問いたします。

まず、1問目の始良市社会福祉協議会との連携については、始良市社会福祉協議会と小・中・高の連携で、募金・福祉・ボランティアなど、どのような取組みがあるのか、おたずねします。

2問目の「始良市のインフラ整備について」は、これからの生活の利便性を考えるとインフラ整備が必須とされるのではないかと考えるため始良市のインフラ整備や今後改善されるのかどうか知りたいです、

ご回答、よろしくお願いします。

以上で、演壇からの質問を終わります。

○市長（笹山義弘君） 龍桜高等学校3年 徳重月議員の1問目、「始良市社会福祉協議会との連携について」の質問にお答えいたします。

社会福祉協議会は、民間の社会福祉活動を推進することを目的とした、営利を目的としない民間組織になります。

始良市社会福祉協議会においても、始良市などの関係行政機関や各種団体と協力しながら、地域の人々が住み慣れたまちで安心して生活することのできる「福祉のまちづくり」の実施をめざした様々な活動を行っています。

児童生徒の皆さんとの連携としては、赤い羽根共同募金運動や、災害被災地の復興支援のための募金活動への参加、様々なボランティア活動に興味を持ち、理解を深めてもらうための各種体験講座の実施、また非常食を作る炊出し訓練なども、各学校の総合授業の中で取り組んでいただいております。

始良市としましても、児童生徒の皆さんが、社会福祉への理解と関心を高め、社会奉仕や社会連帯の精神を養っていただけるように、今後も社会福祉協議会との連携を図っていきたいと考えています。

次に、2問目の「始良市のインフラ整備について」の質問にお答えいたします。

始良市のインフラ整備については、始良都市計画マスタープランや始良市総合計画に基づいて、計画的に進めています。

始良市が維持管理している市道は、1，526路線であり、交通量や道路の危険性などを考慮して順番に整備しています。

特に、現在は、桜島サービスエリアにスマートインターチェンジの整備を進めており、完成すれば高速道路が、より使いやすくなるものと期待しています。

JR九州が所管している市内の5つの駅のうち、加治木駅について、始良市とJR九州が協力して、バリアフリー化に取り組み、平成30年度に駅構内の連絡通路にエレベーターを整備し、利用者の利便性の向上を図ることとしています。

なお、加治木港は、鹿児島県が所管していますが、今のところ、新たな整備計画はないとのことです。

以上、お答えといたします。

○18番（徳重月君） 始良市の福祉のまちづくりやインフラ整備に対する取組みについて、よく理解できました。ありがとうございました。

これで、質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（澁谷翠君） これで18番、徳重月議員の一般質問を終わります。

○議長（澁谷翠君） ここで、しばらく休憩します。

（午前10時55分休憩）

[原爆死没者慰霊・平和祈念の黙とう]

○議長（澁谷翠君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

（午前11時06分開議）

○議長（澁谷翠君） 一般質問を続けます。

次に、19番、永田伊津美議員の発言を許します。

○19番（永田伊津美君） **登壇**

おはようございます。加治木工業高等学校の19番 永田伊津美です。私は、先に通告した「工業系の企業誘致計画について」質問いたします。

私たちの高校では、卒業後の進路として昨年度、全生徒の78.1パーセントが就職、21.9パーセントが進学を選択しています。例年このように、進学よりも就職を希望する生徒が多い傾向にあります。さらに就職のデータを詳しく調べると62.6パーセントが県外就職、37.4パーセントが県内就職と県外就職のほうが100パーセントの半分以上を占めています。

私たちが、工業高校で学んだことを県内（始良市内）で生かして就職したいと考えている生徒が多数いる中で、学んだ知識を生かせる企業が少なく、県外に就職している現状があります。自分たちを育ててくれた始良市に対して、社会貢献をしたい生徒が多いが、その思いが叶えられないのが残念であります。

始良市に工業系の企業があると始良市から鹿児島が活性化するのではないかと、思います。そのためにも、始良市に工業系の企業を誘致できないか、おたずねします。

以上で、演壇からの質問を終わります。

○市長（笹山義弘君） 加治木工業高等学校3年 永田伊津美議員の「工業系の企業誘致計画について」の質問にお答えいたします。

始良市では、市制施行後、18社の誘致企業と立地協定を締結し、新たに操業が開始され、このうち16社が製造業となっています。

現在、始良市では、工業系を含めた製造業等の企業誘致活動を進める一方で、市内全域に視野を広げて、工業用地の確保にも努めています。

また、「広報あいら」では、始良市で稼働されている企業の周知を図るために、誘致企業の紹介ページを設けています。

さらに、平成29年度の新規事業として、来年春に学校を卒業される予定の方や、UIターンを希望される方などを対象とした、市内企業の紹介や業務内容、職場環境を知ってもらうための合同企業説明会を開催する予定あります。

今後においても、始良市では、積極的に企業誘致活動に努めるとともに、既存の市内企業の良さを知っていただく機会の創出を図っていきます。

皆さんがこれまでに学ばれた知識や技術を存分に発揮される中で、ふるさとである始良市の企業に就職していただき、本市の発展に貢献していただきたいと期待しています。

以上、お答えといたします。

○19番（永田伊津美君） 合同企業説明会開催という具体的な回答をいただき加治木工業高校生の一員として、とてもうれしく思うと同時に、どのような対策をなされているか、とてもよくわかりました。ありがとうございました。

○議長（澁谷翠君） これで19番、永田伊津美議員の一般質問を終わります。

○議長（澁谷翠君） 次に、20番、萩原優香議員の発言を許します。

○20番（萩原優香君） 登壇

20番 蒲生高校の萩原優香です。私は、先に通告した「観光振興について」質問いたします。

まず、はじめに、この写真は「ななつ星」のボランティアをしている写真です。次に、この写真は蒲生高校の大楠をイメージとして生徒が開発した「まっくすパン」です。

来年度、大河ドラマ「西郷どん」も放映されるが、始良市としてどのような取り組みを計画されるのか。本校では、「ななつ星」等へのおもてなしで始良市をPRしています。

観光協会及び特産品協会とも連携を考える上で具体策をお聞きしたいです。

日本観光学会など開催誘致はできないかをおたずねします。

以上で、演壇からの質問を終わります。

○市長（笹山義弘君） 蒲生高等学校2年 萩原優香議員の「観光振興について」の1点目のご質問にお答えします。

蒲生高等学校生徒会の皆さんが、JR重富駅などで「ななつ星 in 九州」の歓迎のおもてなしにより、始良市のPRにも大きく貢献していただいているものと感謝しているところです。

NHK大河ドラマ「西郷どん」に関する始良市での取組みについては、本市にも西郷隆盛に縁のある地が幾つかありますので、説明看板の設置などで、訪れる方々への周知を図りたいと考えているところです。

また、来年以降、明治維新150年、島津義弘公没後400年と、節目にあたる年が続きますので、これらにも目を向けた観光事業に取り組んでいきたいと考えています。

2点目のご質問にお答えします。

平成24年3月に策定しました「始良市観光おもてなし計画」では、本市の持つ潜在的な可能性を最大限に活かし、将来にわたって持続的に提供・享受できるような、魅力ある観光地づくりを進め、もう一度訪れたいくなるようなまちづくりの方向性を示しています。

このような中、観光協会においては、現在3つの「あいらフットパスコース」を設定し、コースマップも作成して希望者に配布し、また、初心者の方をはじめ、コース案内を希望される方などを対象にフットパスイベントを開催し、ガイドを付けて散策していただくような取組みを行っています。

また、特産品協会においても、積極的な販路拡大や新たな特産品の開発に取り組まれています。

今後においても、観光協会や特産品協会などの関係団体との連携を図りながら、ハード・ソフト両面からの観光振興に努めてまいります。

3点目のご質問にお答えします。

日本観光学会は、昨年は京都府福知山市で「地域経営における観光の役割」をテーマとした全国大会が行われています。

これまでの大会も全国各地で開催されていますが、会場規模や宿泊先確保などの都合上、現状では本市での開催は難しいものと考えています。

今後、日本観光学会の活動趣旨を十分に理解した上で、問題解決に向けた検討を重ねていきたいと考えています。

以上、お答えいたします。

○20番（萩原優香君） 日本観光学会について、再質問いたします。先ほどの答えでは、会場規模や宿泊先確保などの都合上、現状では、本市での開催は難しいとのことでしたが、来年度は、「西郷どん」もあり唯一のチャンスだと思いますので、ぜひ誘致をお願いいたします。

○企画部長（福留修君） はい。観光学会を来年度直ちに誘致するというのは、容易ならざるところがあるかと思えます。主たる会場が、大学であったりとか、そういったところのほうが、よかったりする場合もあるようでございます。

ただ、私ども始良市が、その観光学会の分科会の場所とか、そういうところにはなり得るのではないかというふうにも考えます。今後、来年度というご要望でございましたけれども、来年度は、なかなか難しゅうございますが、今後、この観光学会の誘致が可能かどうかについては、私たちも検討していきたいというふうに考えております。

以上です。

○20番（萩原優香君） 始良市の観光振興に対する取組みについて、よく理解できました。ありがとうございました。これで質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（澁谷翠君） これで20番、萩原優香議員の一般質問を終わります。

○議長（澁谷翠君） これをもって、すべての一般質問を終了いたしました。
次に、日程第5、小倉 教育長 から講評をいただきます。

○教育長（小倉寛恒君） 登壇

本日、ご出席いただきました中・高校生議員の皆様方、お疲れ様でした。

今日は、少し緊張もされたと思えますけれども、皆様方の堂々とした、またはきはきとした態度に非常に感銘を受けたところです。

また議長を務めていただきました蒲生高校末満君、それから重富中の澁谷さん誠に見事な采配であったと思えます。ここにご出席いただきました中・高校生の皆さん、始良市内の中・高校生であることを本当に誇らしく思うところでございます。

今回、皆さん方は中学校・高校を代表して始良市のあり方についてご質問をしていただきました。多岐にわたる課題を若者の目線で問うていただいたことは、始良市の行政に新たな風を吹き込んでいただいたと、そう考えております。一人一人が自らの生活を振り返るとともに、市全体の課題を明確につかんでいる、そう感じることでございました。そこには、若い皆様方の郷土始良市に対する強い思いを感じるところでございました。

本来、皆様方からいただいたご質問は、3問ないし5問ございました。しかしながら時間の都合上ですね、1問ないし2問に限らせていただいて、後は書面回答ということで皆様方にはお答えしているところでございます。皆様方のご質問の中で帖佐中学校の新福さんのご質問にもありましたとおり、始良市は、東洋経

済新報社が実施している「住み良さランキング」で2年連続、鹿児島県内で1位という高い評価を得ております、また同じく帖佐中学校の前田君のご質問にありましたように県内43市町村の中で唯一人口が増加している、そういうまちでもございます。街中には大型商業施設のイオンも建設され、交通網が整備されて、街には活気があふれていると実感するところでございます。

その一方で、蒲生中の留野さん、加治木工業高校の内村君の質問にありましたように、待機児童への対応など福祉の面をどう取り組むのか、という問題でございませうとか、あるいは加治木中の楠元さんの災害に強い生活基盤の整備、あるいは、龍桜高校の徳重さんの始良市内のインフラ整備についてどう取り組むのか、まだまだ課題として残されているところを辛らつに質問していただいたと思います。

また日常的な小回り感のある、例えば、加治木中の大脇さんの防犯灯の整備だとか、あるいは重富中の長谷川さんの側溝の蓋などについても、そういうこともまたご質問いただいたところでございます。また、高校のほうでは、加治木高校の伊福君、加治木工業の永田君、やはり近い将来の自分の進路に向けての自分の不安をこういった制度面でどうかできないのか、というご質問もございました。こういった多岐にわたる行政上の課題を示していただいて、行政はこうした課題に議員の皆さんと協力しながら、より良いまちづくり・人づくりのために努めているところです。

さて、議会制民主主義の我が国では、例えば、この市議会の場合、選挙において議員が市民から選ばれ、選ばれた議員は市民の付託に応えるべく、東奔西走するとともに、議会において、行政の進めていることや今後進めるべき施策、予算の使い方などについて話し合いを行っています。このように。みんなで話し合い物事を決定していくという仕組みは、国はもとより、各都道府県、各市町村で行われているところです。

こうした仕組みについては、中・高校生の皆さんは、今回の体験を各学校の生徒会活動等に活かしていただきたいと考えております。学校では生徒の意見を聞きながら今後の生徒会活動のあるべき姿や方向性、また、より充実した学校生活への取組みについて、議論を深め、実行していくことが求められていると思います。

また、それによってより良い学校づくりの一助になるものと期待するところであります。

今回、始良市として「若者議会」と銘打って中・高校生の皆さんに現実の議会の状況を体験してもらうことは、将来、皆さんが我が国の社会の主体的な形成者としてその発展に寄与して行くような国民として成長していただきたい、そういう願いで企画したものです。

それはどうして今なのかと申しますと、一昨年の通常国会で、公職選挙法の改正が行われまして、選挙権年齢が20歳から18歳に引下げられました。昨年の6月からこの選挙権の引下げは実施されたところでございます。それによって高

校生も18歳に達した場合、選挙することが出来るようになり、いよいよ高校生も大人として国民の選挙権を行使できる立場になったからであります。皆さん方の関心をいっそう高めていきたい、そういうことからこの議会を設けたところでございます。

最後になりますけれども、今回の若者議会にご協力いただきました各学校の先生方や保護者の皆様に厚く御礼を申し上げますとともに、今回参加して議員を務めていただいた中学生、高校生のこれからのよりよい成長を期待し、講評といたします。

○議長（澁谷翠君） ありがとうございます。

次に、日程第6、湯之原 市議会議員 からごあいさつをいただきます。

○市議会議員（湯之原一郎君） 登壇

ただ今、澁谷若者議会議員から指名をしていただきました、市議会議員の湯之原です。若者議会の議員の皆様、とても立派な発言の数々、素晴らしい若者議会だったと感動しています。中にはもう少し時間が欲しかったという人もいたかもしれませぬ。今日の体験をこれからの学校生活に役立ててください。

皆さんにお話しする時間を頂きましたので、二つの事を皆さんにお伝えしたいと思えます。

私の左胸、皆さんから見たら右胸ですが、このバッジが見えますか。これは議員バッジと言われるものです。国会議員、県議会議員、市議会議員、町村議会議員、およそ議員という名の役職についている人のほとんど全てが、色や大きさの違いは多少ありますが、議員としての仕事をする際には、身に着けることになっています。議員がこの議場に入る際には、クールビズの期間を除いて議員バッジを着けて入る約束になっています。

それでは何故議員バッジを着けるのでしょうか。

市議会議員は、4年に一回行われる選挙に立候補して、当選してはじめて、始良市民約7万6千人の代表として様々な議員活動をすることができます。市長さんも同じように選挙で選ばれます。市民から選ばれた二つの代表、二元代表制とありますが、役割には大きな違いがあります。ただ、共通することは、どうしたら始良市が発展し、市民が安全に安心して暮らすことのできる市になるかを常に考えながらその役割を果たすために努力していることです。このバッジには議員として選挙で選ばれ、市民に対する責務を常に自覚し、努力するよとの意味合いが込められていると私は考えます。今日の皆さんの発言は、いつも私たち議員がこの議場で行っている本会議に負けないくらい、問題意識をしっかりと持ち、真剣なものでした。将来、皆さんの中からは是非議員として、市民のために頑張りたいと思う人が育ってくれることを心より期待しています。

2点目のお話をします。皆さんの前に掲げてある二つの旗があります。一つは

国旗ですが、もう一つは始良市章ですね。それでは、始良市章は何を表現したものか考えたことがありますか。私は始良市が誕生する前の合併協議会で市章の選考委員会に所属していたこともあり、この市章への思いは大変強いものがあります。始良の「ア」をモチーフ化していることは分かると思いますが、「ア」の上部の緑色の一番濃い部分は、鳥が力強く飛び立つ姿を表しています。そして、下の部分の8を斜めにしたような形は、「infinity」無限大を表現しています。

この市章が表現していることは、これからの皆さんたちのことではないかと思えます。将来に渡って様々なことに挑戦し、自分の可能性を追い求めて大きく羽ばたいてください。皆さんの可能性は無限大です。今日は、多くの感動をありがとうございました。終わります。

○議長（澁谷翠君） ありがとうございます。

ここで少しお時間をいただき、若者議員を代表してお礼の言葉を述べさせていただきます。

本日は、私たちにこのような機会を与えてくださり、また、長時間にわたり、私たちの質問に真剣に答えてくださり、本当にありがとうございました。

私たちが生活している始良市の政治に目を向け、自分たちで考え、質問・提案をするという貴重な体験をすることができました。今日、体験をしたことを各中学校・高校でも活かせるよう頑張っていきたいと思えます。

また、今日、私たちが質問し、提案したことが一つでも実現することがあれば、とても嬉しく思います。

これからの始良市を支えていくのは、私たち中学生・高校生です。暮らしの中の様々なことに関心を持ち、大人の皆さんと一緒に考え、行動していきたいと思えます。

本日は、ありがとうございました。

〔「ありがとうございました」と呼ぶ者あり〕

○議長（澁谷翠君） 以上で、本日の議事日程は 全部終了しました。

したがって、本日の会議を閉じ、第1回 始良市若者議会を閉会します。

(午前11時31分閉会)